

## お母さんのトラブル

切迫早産などを含めると、**妊娠・出産による合併症は全妊産婦の50%以上に発生**と言われていいます。  
それだけ多くのトラブルが起こりやすい、妊娠・出産。  
ここでは**重篤化すると危険なお母さんに起こるトラブル**を紹介します。

### 子癇

#### どんな病気？

**妊娠高血圧症候群**や、妊娠高血圧腎症を患ったお母さんに起こる「けいれん発作」のことです。子癇によるけいれんでは全身がこわばり、がくがくするようなけいれんが起こり、意識を一時失います。子癇はてんかんや脳炎、脳腫瘍、脳血管障害、薬物中毒を原因としなけいれん発作をいいます。

子癇の特徴的な初期症状としては、下記のようなものがあります。

- 血圧が高い
- 頭痛
- 吐き気
- 胸や胃のあたりがムカムカする
- 全身の倦怠感
- お腹の右上が痛む
- 眼がチカチカする
- 視界の一部が見えなくなる

子癇によるお母さんの死亡率は10～20%と極めて高いといわれ、生命にかかわる病気です。上記に当てはまる症状が出た場合は、けいれんが起こることがあるので、すぐに救急車を呼ぶ必要があります。

#### どんな治療をするの？

血圧が160/110mmHg以上の場合には、点滴で血圧を下げる薬を投与します。子癇は**HELLP(ヘルプ)症候群**を合併しやすいため、血液検査を行って詳しく調べる必要があります。また、他の合併症がないかの評価も行います。子癇は他の疾患との判断が困難な場合もあるため、ひとまず血圧を下げる治療を行った後、けいれんを起こす他の疾患（脳卒中、てんかん、内分泌代謝疾患、過呼吸発作、脳腫瘍、髄膜炎など）の可能性を考えて詳しく調べる必要があります。

けいれんによってお母さんの低酸素状態が続くと、赤ちゃんにも酸素が行き届かなくなり、赤ちゃんの脳性まひにつながる恐れもあります。けいれんが何度も続く場合や赤ちゃんの状態が悪い時には、赤ちゃんをお腹から早く出してあげることも必要です。

妊娠高血圧症候群  
PIH

ヘルプ  
HELLP症候群

しかん  
子癇

常位胎盤  
早期剥離

過強陣痛

しかんしゃっけつ  
弛緩出血

産科ショック

頸管無力症

帝王切開後の  
血栓塞栓症



tel.072-682-6233

- 産科医療補償制度とは
- 原因分析報告書とは
- 属性まひとは
- 妊娠・出産のトラブル

- 判例
- コラム

相談のお申し込み



Copyright © SANKAIRYO LABO